

ゾウリムシを操る： 走電性行動の観察

ゾウリムシは「泳ぐ神経細胞」とも言われ、神経細胞と同じような興奮メカニズムを持ち、遊泳行動を調節している。このような興奮性を応用して、ゾウリムシの泳ぎを操ってみる。

操るための道具（電気刺激装置など）を自作し、顕微鏡のもとでのゾウリムシの遊泳行動を観察する。

講師：最上 善広 先生

（放送大学特任教授／東京足立学習センター所長）

日時：2025年3月2日（日）

第2時限 11：35～13：05

第3次限 14：05～15：35

第4次限 15：50～16：20（予備）



場 所：放送大学 東京足立学習センター 実験室

対 象：[放送大学在学生](#)

定 員：10名（先着順）

受講料：無料 ※受講による単位の付与はありません。

申 込：次のURL、またはQRコードより申し込み

<https://qr.paps.jp/enVke>



受講される方は事前にメールにて送付されるテキストデータをダウンロードの上ご参加ください。

※なお、開講日程・会場は都合により変更、実施方法の変更、又は中止になる場合もありますので、予め御了承ください。

ください<https://forms.gle/H2iFvz374u3rk5t5>